



第68号

〒108-0014 東京都港区芝四丁目一番三〇号
TEL 〇三三四五一一〇九一二 FAX 〇三三四五一〇九〇二
加入者名 東京女子学園清香会
印刷所 キンコーズ・ジャパン株式会社



令和7年度 清香会総会報告
～学園ルナホールにて～

10月25日(土)、学園6階のルナホールにて令和7年度清香会総会が開催されました。今年から総会の幹事は当番回生制度に戻り、45回生が担当しました。

学園側からは高津理事長・吉野校長・棚橋理事の出席を得て開会となりました。45回生、井上亜紀さんの開会の辞を受けて、高津理事長のご挨拶では、東京女子学園が120年間やってきた「自分」で考え、意思を決定し、社会の役に立つ」というコンセプトが今世界的に必要とされています。6年前から積極的に社会の方達との交流を元にも実際に考えるトレーニングの場をもつなど、まだまだチャレンジを進めています。とお話がありました。吉野校長からは、今年3月の東京女子学園中学校の最後の卒業式が行われ、4月に最後の東京女子学園高校の入学式が行われました。東京女子学園高校もあと2年半となりましたが、生徒たちは港区の図書館で実施しているピリオドバトルで2位になっれば、世界のために何をすればいいか学ぶため、高校

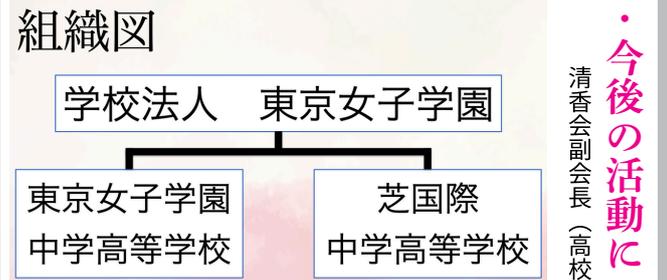
1、2年合同でインドネシアに修学旅行に行きます。など生徒たちの様子をお話してくださいました。また芝国際としては、今年で6学年揃ったこと、来年の春初めての卒業生が出ることのお話もありました。棚橋理事からは、現在の新しい校舎は現在の教育にあった校舎にしているのぜひ見学してほしい。階段にある校歌の刺繍は、卒業生が、制服社とタイアップして今の制服の生地を使って授業で制作してくれました。また作るなど、東京女子学園の生徒はなくなってしまうが、東京女子学園のものを残していこうという思いがあります。残り少ない東京女子の生徒の為に何ができ



▲会則改正の説明中

今年度の総会では、常任幹事会で話し合いを重ねて、清香会事務局の現状に沿った会則の改正案を出席者の方々にお諮りいたしました。現在、東京女子学園中学・高等学校は、学校法人東京女子学園という法人の枠組の中に「東京女子学園中学・高等学校」と「芝国際中学・高等学校」の二校を運営しております。これを踏まえた上で、改正した内容を説明し、承認されました。現在学園HP上で閲覧可能となっております。

清香会会則改正・今後の活動について



次在今后の清香会活動についてです。東京女子学園は2028年が最後の生徒輩出となります。清香会はこれを最後とはせず、校舎は芝の地に存在していること、「学校法人東京女子学園」として名前が残っていることを誇りに思い、今後も梅香祭での活動や総会を行い、いつまでも卒業生が帰れる「母港」の窓口としてあり続けようと考えています。次年度の常任幹事会ではこの活動内容をどう発信していくか、また若い卒業生が参加しやすいように

話し合いを重ねていく予定です。こういった発信の原動力は、卒業生である正会員の皆様からの年会費です。昨年度はお心づけをたくさん頂きました。中には、高等女学校の方からも頂き、場をお借りしまして、お礼申し上げます。ありがとうございます。また、校歌CD、リカちゃん人形の販売も引き続き行なっております。ご希望の方はメールにて件名に、「校歌CD係」「リカちゃん人形係」と記載の上お知らせください。追ってご連絡いたします。 seikoukai@tokyo-joshi.ac.jp



▲リカちゃん人形



▲校歌CD

その後今年度の当番回生の挨拶では、当番回生45回生の紹介から始まり、今回45回生は29名集まってくださいました。とお話がありました。続けて、清香会池田会長のご挨拶では、当番回生45回生の紹介から始まり、今回45回生は29名集まってくださいました。とお話がありました。続けて、清香会池田会長のご挨拶では、当番回生45回生の紹介から始まり、今回45回生は29名集まってくださいました。とお話がありました。

その中に、今回母娘2代の方の参加が3組もいらしたので、こちらは娘から母へプレゼントを渡して、ご紹介させていただきます。最後は皆で高らかに校歌斉唱を行い、45回生の酒井実佐さんの閉会の辞をもってお開きとなりました。今回も多くの皆様にご参加いただき心より感謝申し上げます。 総会の後には、棚橋理事と池田会長のご厚意により45回生の同期会が1階の多目的室にて行われました。先生方もお越しください、懐かしい話で盛り上がることができました。 次回の清香会総会で、また先生方、先輩方、同期、後輩の皆さんにお会いできることを楽しみにしています。来年度の当番回生46回生

れ、出席者の拍手を持って了承を得ました。⑤ 奴田原副会長より会則についての改正案を提示、本総会にて承認されました。議事終了後は、「出席頂いた教職員と清香会事務局員の紹介を行いました。その後懇談の時間となり、久しぶりに再会した同級生や先輩方、先生方との談笑で楽しみました。その中で活躍されている卒業生のお話もたくさん聞かせていただきました。懇談の後には池田会長のサブライズにより、喜寿を迎えた方から90歳までの先輩方にお祝い菓子を45回生からプレゼントさせて頂きました。



▲45回生と辰巳先生

の皆さん、バトンをお渡します。次回幹事をよろしく願っています。(文：45回生 井上亜紀)

創立百二十周年事業



▲記念モノUMENT



▲東京女子学園120周年記念ビデオ(67回生西山さんナレーション担当)



▲東京女子学園校歌動画【歌詞入り】

初代校長 棚橋絢子と白線

理事 棚橋 毅

高校三年生の皆さん、卒業おめでとうございます。そして、東京女子学園を愛してくれてありがとうございます。

さて、初代校長棚橋絢子と制服の白線についてお話します。絢子は、江戸時代の1839年(天保10)に生まれました。生きていれば今年186歳です。日本史の授業で学習したと思いますが、日本は鎖国政策をとっていて、この年は、渡辺崋山や高野長英らが弾圧された「蛮社の獄」があり、世界では、アヘン戦争が勃発し、イギリスと清(中国)の間で戦争が始まりました。これをきっかけに、日本でも海外情勢への関心が高まるようになりました。日本が開国へと大きく動き出した1857年(安政4)絢子は18歳、失明の漢学者棚橋大作と結婚しました。その後、愛知県で寺子屋や私塾などを開きました。

校で教師として活躍しました。1896年(明治29)58歳の時、名古屋市中から高等女学校(現在の菊里高等女学校)の創設の依頼があり、創設後は初代「おなご校長」として評判となりました。その後、東京に戻り、1903年(明治36)東京高等女学校(現東京女子学園)の初代校長として65歳で就任し、100歳まで校長職を務めました。実は、名古屋の高等女学校の制服には白線が入っていました。現在、菊里高校ではこの時代のスカートに白線がそのま

まの形で踏襲しています。この頃から絢子にとって白線への思いは強かったのだと想像します。ゆえに、東京高等女学校を創設した時にも白線を採用したのでしょう。この当時の卒業生の袴の写真が残っており、その写真が弥生美術館で開催されている「はいからモダン袴スタイル」に展示されています。令和になってもこの袴の白線に注目して頂けたことは嬉しく思います。卒業生の皆さんもこの白線のスカートを誇りに思ってください。きつと絢子も喜んでくれるでしょう。

※弥生美術館「はいからモダン袴スタイル」は3月29日まで開催



▲弥生美術館 チラシ

東京女子学園、一年間の活動

校長 吉野 明

4月7日、東京女子学園高等学校最後の入学式が挙行されました。東京女子学園中学校から15名が進学しました。25日、ホテル雅叙園東京でテーブルマナーを行いました。

6月2日、21日に、卒業生1名が教育実習を行いました。16日、港区スポーツセンターで体育祭が開催され、清香会、鷺鳴会の皆様が応援・参加してくださいました。清香会から飲み物の差し入れを頂きました。

8月21日、24日、1年生が駒ヶ根研修を行い、さまざまな学びやハイキングなど、盛りだくさんの3泊4日でした。

9月20日、21日、梅香祭が開催されました。清香会や鷺鳴会の皆様に参加、ご協力いただき、清香会の部屋にも多くの皆様にいらして頂きました。

10月23日、2年生は校外学習で鶴岡八幡宮を参拝した後、秋の鎌倉を散策しました。27日、球技大会がAriena Subanaで開催されました。

11月9日、港区教育委員会主催のビブリオバトルで、3年生の真鍋さんが第2位となり、教育長から直々に表彰されました。

12月11日、大野先生と江木先生による礼法の授業が行われました。

1月24日、希望者がアデレードの高校へタム留学

に出発しました。2月28日、卒業証書授与式を挙行します。

DSDAの成果として、昨年はポリッピー梅しそ味が発売されましたが、今年度は「東京女子学園」とパッケージに記載されたレギュラー商品になりました。



東北公益文科大学、酒田米菓との共同プロジェクトで、中学生のアメリカ修学旅行で市場調査をしてきたものです。授業の様子は「企業×大学×中高でつくるPBL実践ガイド」(大修館書店)として大学の教科書になります。今年のDSDAでは、チロルチョコを100円にしたらどんな付加価値を付けるかという授業が行われました。

高校生だけで少人数になりましたが、この1年間で、日々の学業にもしっかりと励み、ガーデンに植栽されているシンボルツリーの梅の木から家庭科を選択している生徒達が梅の実を収穫してジュースを作ると、部活や生徒会活動にも頑張ってくれました。



お知らせ・報告

「梅香祭」報告

令和7年9月20・21日に「梅香万来」をテーマに実施されました。清香会では生徒会の生徒達の手伝いのもと、「梅の憩い」という卒業生の部屋を企画しました。たくさん卒業生が来校し、同級先輩先生方と楽しいひとときを過ごされました。来年度も卒業生の部屋を企画する予定です。是非「母港」にいらしてください。



▲卒業生の部屋の様子

「成人を祝う会」報告

令和8年1月12日、成人の日にて76回生が学園向かいのザ・セレスティン芝東京にて、今年成人を迎えた卒業生と保護者・理事長・前校長・旧担任の先生方などが集まり、「成人を祝う会」を開きました。清香会からは池田会長が出席してください、華やかな振袖に身を包んだ新成人をお祝いしました。



▲20歳の集い(76回生)

「清香会総会予定」日程：令和8年10月24日(土) 場所：学園内 詳細は学園HP、ハガキにてお知らせいたします。

「年会費のお願い」令和8年度年会費20000円を同封の振込用紙にてお支払いください。封筒お名前下の卒業番号、回生、卒業年度のご記入もお願いいたします。合わせて、年会費の振込ですがペーパーレス化に伴い、6回生から36回生まで、かつ総会幹事回生のみ会報と共に「振込取扱票」の発送を行っております。

学園HPから閲覧の場合には、会報1ページ目タイトルの下部分にゆうちょ銀行の口座番号を記載しております。卒業生各位のご協力をよろしくお願いいたします。

「卒業式参列のお願い」2028年3月に東京女子学園最後の卒業式が行われます。正会員の皆様にはぜひ参列して頂きますようお願いいたします。詳細は別途お知らせいたします。

「オランダせんべい塩レモン味」上記、校長先生の記事にもありました。酒田米菓のオランダせんべい塩レモン味は、東京メトロ広尾駅下車1分の「酒田米菓アンテナショップ」やオンラインショップで購入することができます。

訃報

鈴木 ヒサ先生(数学・理科) 令和7年12月 97歳

鈴木先生は東京高等女学校41回生でもあります。冥福をお祈りいたします。